

請求の範囲

- [請求項1] 有効成分を含有する、コア部と、
H L B 値が 4 ～ 1 4 である界面活性剤を含有する、シェル部と、
を備え、
前記コア部が固体であり、
前記界面活性剤が、炭素数が 7 ～ 1 5 である飽和炭化水素基、又は
炭素数 7 ～ 1 7 である不飽和炭化水素基を有する、コアシェル構造体
。
- [請求項2] 前記界面活性剤が、アルコールと脂肪酸とがエステル結合又はアミ
ド結合されてなる界面活性剤であり、
前記アルコールの分子量が、 $70\text{ g/mol} \sim 330\text{ g/mol}$ の
範囲内にある、請求項 1 に記載のコアシェル構造体。
- [請求項3] 前記界面活性剤が、ソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸
エステル、プロピレングリコール脂肪酸エステル、及び脂肪酸アルカ
ノールアミドからなる群から選択される少なくとも 1 種を含む、請求
項 1 又は 2 に記載のコアシェル構造体。
- [請求項4] 前記界面活性剤が、ソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸
エステル、及びプロピレングリコール脂肪酸エステルからなる群から
選択される少なくとも 1 種を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記
載のコアシェル構造体。
- [請求項5] 前記グリセリン脂肪酸エステルが、モノグリセリン脂肪酸エステル
、ジグリセリン脂肪酸エステル及びトリグリセリン脂肪酸エステルか
らなる群より選択される少なくとも 1 種である、請求項 3 又は 4 に記
載のコアシェル構造体。
- [請求項6] 前記有効成分と前記界面活性剤との質量比（有効成分：界面活性剤
）が、 $1 : 0.5 \sim 1 : 100$ である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項
に記載のコアシェル構造体。
- [請求項7] 前記有効成分と前記界面活性剤との質量比（有効成分：界面活性剤

）が、 $1 : 5 \sim 1 : 100$ である、請求項1～6のいずれか1項に記載のコアシェル構造体。

[請求項8] 前記有効成分と前記界面活性剤との質量比（有効成分：界面活性剤）が、 $1 : 0.5 \sim 1 : 5$ である、請求項1～6のいずれか1項に記載のコアシェル構造体。

[請求項9] 前記有効成分と前記界面活性剤との質量比（有効成分：界面活性剤）が、 $1 : 0.5 \sim 1 : 2$ である、請求項1～6のいずれか1項に記載のコアシェル構造体。

[請求項10] 請求項1～9のいずれか1項に記載のコアシェル構造体を含む、製剤。

[請求項11] 請求項1～9のいずれか1項に記載のコアシェル構造体を含む、外用薬。

[請求項12] 請求項1～9のいずれか1項に記載のコアシェル構造体を含む、テープ剤。

[請求項13] 請求項1～9のいずれか1項に記載のコアシェル構造体を含む、化粧品。